

島津家と伊達家

島津家と伊達家は、鎌倉時代初期に中央から離れた地にそれぞれ所領を持ち、その後、有力な戦国大名になりました。また、近世初期に強力な軍力で政権を握った豊臣秀吉により、島津義弘、伊達政宗ともに朝鮮出兵に動員され、苦難を味わいました。列強の外圧が高まった幕末には、島津斉彬・久光や伊達家支流の宇和島藩主伊達宗城はともに積極的に藩の近代化に取り組み、列強に対抗しようとしていました。島津家と伊達家という鎌倉時代以来の由緒ある両家について、近世を中心に紹介します。

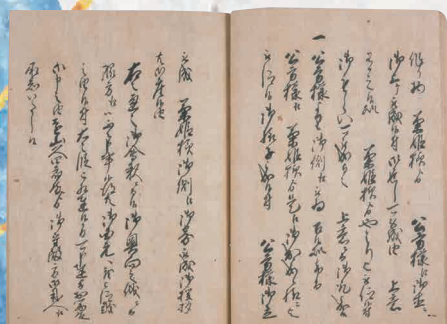


島津氏15代 貴久が永禄元(一五五八)年に現在の鹿児島市に寄進した胴丸

重要文化財
色々威胴丸 兜大袖付(肩萌黄)
【鹿児島市神宮蔵 黎明館保管】



九州略定図(天正十四年之図)(部分)
【個人蔵・黎明館保管】



国宝 島津宗信・菊姫御目見次第一巻帳
島津家文書【東京大学史料編纂所蔵】

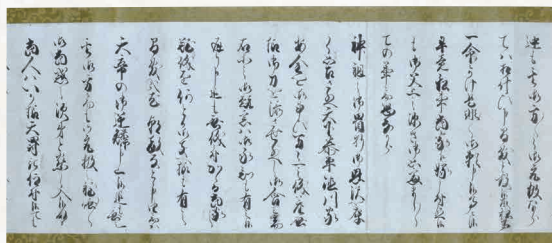


「禽譜」より ひつざぎの図
【宮城県図書館蔵】



茂姫肖像
玉里島津家資料【黎明館蔵】

江戸城総攻撃直前の書状



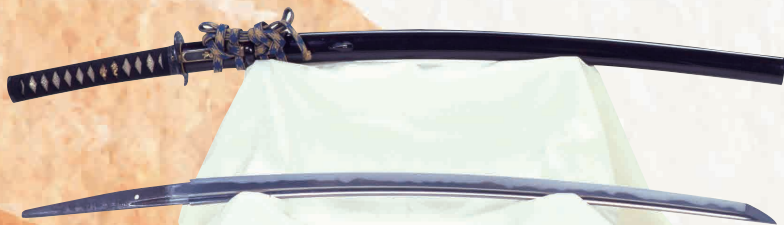
天璋院書状 官軍隊長宛(慶応4(1868)年3月)
【黎明館蔵】



支倉常長肖像写
【東京大学史料編纂所蔵】



徳川家康異国渡海朱印状
【黎明館蔵】



平田靱負佩刀【黎明館蔵】

宝暦治水工事の
総奉行・平田靱負の刀

※会期中展示替えがあります。

記念講演会・展示解説講座

〈会場〉黎明館2階 講堂(245席) 〈時間〉13:30~15:00(開場 13:00)

【聴講無料・事前申込制(電子申請または郵便往復はがき)】電子申請での申し込みは、下記QRコードから各講演会の申し込みページにアクセスしてください。黎明館HPからも申し込みできます。郵便往復はがき(170円・私製を除く)での申し込みは、黎明館HPまたはSNS等で御確認ください。

【展示解説】■講演会・展示解説講座の終了後、15:15から展示場で展示解説を行います(40分程度)。■講演会・講座の参加者は団体料金で観覧できます。参加者以外は通常料金です。※下記の日程以外に展示解説を行う場合は、HP・SNSでお知らせします。

A 10月4日(土)

9月17日(水)締切

島津家の女性たちと江戸城「大奥」

九州大学基幹教育院教授
福田 千鶴氏



B 10月11日(土)

9月24日(水)締切

島津家と伊達家

～時代の変革に立ち向かった南と北の大名～
黎明館主学芸専門員
兼企画資料係長
新福 大健



C 10月18日(土)

10月1日(水)締切

島津重豪と博物学ネットワーク

～東北との関わりを中心に～
元仙台市博物館館長、
元宮城学院女子大学特任教授
内山 淳一氏



D 10月25日(土)

10月8日(水)締切

島津斉彬と伊達宗城

～国を思い、人を重んじた藩主たち～
宇和島市立伊達博物館学芸員
上田 理沙氏



交通	
飛行機	鹿児島空港より、鹿児島市内行き空港バス「市役所前」下車、徒歩7分
JR	「鹿児島中央駅」より、市電・バスを利用「鹿児島駅」より、徒歩15分
市電・バス	「市役所前」または「水族館口」下車、徒歩7分
市内巡回観光バス	「薩摩義士碑前」下車すぐ
駐車場	
照国神社大鳥居をくぐって右折し直進 (普通車125台、バス20台)	

展覧会や記念講演会・展示解説講座の最新情報は
黎明館ホームページ・SNSでご確認ください。



鹿児島県歴史・美術センター 黎明館

Tel.099-222-5100 〒892-0853 鹿児島市城山町7番2号
https://www.pref.kagoshima.jp/reimeikan/